

出前講座を実施しました in 徳島県

令和5年3月2日（木）、徳島県庁において、徳島県職員及び徳島県内の各市町村職員を対象に、東日本大震災からの復旧・復興に関する出前講座を実施しました。

本講座は、津波防災意識が文化として地域に根差し、次世代へつなぐことを目的として実施している伝承活動で、本県土木部が取り組んでいる「災害に強いまちづくり宮城モデルの構築」の説明を通して、防潮堤などのハード整備に過度に依存しない、避難の重要性を伝えました。

当日は、本県に応援に来ていただいた職員をはじめ会場に50名、WEB会議44名、合計94名の方々に聴講いただきました。質疑応答では、残りの災害復旧工事の進捗状況や南海トラフ地震に向けた取組等について質問がありました。

なお、今回の出前講座は、令和5年1月から2月にかけて熊本県、鹿児島県、高知県及び宮崎県において実施した出前講座に続いて実施したものです。引続き、全国の自治体や地域住民に向け伝承活動に取り組んでいきます。



防災砂防課防災企画班



都市計画課まちづくり推進班



聴講の様子（市町村へはWEB配信）



質疑応答